

1. 追求課題

筆者がいかにか切羽詰まった状況であるのかを「そいつのけそいつのけ」から読み取る

なぜ自分で助けたいのかを「言葉が通じないう雀の子に命令を繰り返すのだらう。」

2. 教材解釈

筆者が呼びかけている雀の子はまだ巢立って間もない。危険を感じて飛び去ることができないような様子だった。そこへ、位の高い人物が乗った馬が走ってくる。雀の子がいる場所まで間もなくであり、乗っている人物も雀をよけようとするような人物ではない。このままでは間違ひなく雀のいる場所を通過する＝雀が馬に蹴られることへの危機感を感じた筆者だが、馬のスピードと雀との距離・そして自分の身分から、助けられる状況ではな

く、雀の子への強い願いを「そいつのけそいつのけ」と必死に伝えている。「そいつ」は鳥が雀の子である認識をよびかきながら筆者からは近い距離であり、馬の進行方向にあって、走っている馬があつて10秒もないうつらうに通過する場所である。

3. 授業の流れ

＜そいつのイメージを田舎く～音調かひひ＞

- ①馬の上の筆者がいて、雀はすくへ近へ。↓怒りながら言っている。
- ②雀の子は馬から少し離れた進行方向について、筆者はそれを馬の後ろ側から見ている。↓のなき言っている。
- ③筆者は雀の近くについて、そこから少し離れた所に馬がいる。↓あせって言っている。

＜初めのイメージの支持確認＞

☆「そいつのけ」と言っている人はそいつのけ。

- ・馬の横 4人 馬の上 2人 ↓ A馬をつれてる側 6人
- ・馬の前 7人 馬の後ろ 1人 ↓ B通行人 8人

「そいつのけそいつのけ」はどんな気持ちで言っているか。

- ・怒っている 5人
- ・のんき 1人
- ・焦っている 6人
- ・やばー！ー！（焦りがすくへ強い） 2人

＜筆者は馬をつれてくる側ではないから「そいつのけ」をきかせずして追求課題「しひなびるため、☆きぞらよつて扱く

くA・Bそれぞれの立場で集まって自分たちの考えを出し合った後、全体で交流 Aの立場からく

○1「御馬が通る」ってこいつが偉そつちから横の人（そいつ）

○2偉そつち。でもそんなん偉そつちしたらやめなうで。パコパコやで。動物愛護団体に怒ひわなうで。（しひせ）

○3待って、先生もうちやつちやつち言ひなう。（こんね）

↑↑↑↑↑よ。詳しくして。

○4えつち、「雀の子そいつのけそいつのけ」は通行人みたいにしてそつち、「御馬が通る」ってちやつちと偉そつちを感じたから、雀のりも自分の馬の方が大きいから偉そつちするみたいな感じで、馬を連れてる人が言っているんかな

って。(うんね)

T2それは、「納得」とも「ちよつと違う」とも、みんなどうやって受け止めた？

C5おれ、全部反論できます。(うんせつ)

T3全部反論で受け止めたのがこうせいくん。他は？

C6え、けどさあ・・・まあまあ後で。(けんたろつ)

T4いろねちゃんと一緒の立場の人もうちよつと言いたいことあらへんの？あの、たぶんこのままだと、すごい反論がくるような気がするから、もうちよつと自分らの意見を「こうです」って出してもらったら・・・どうぞ。

C7あの、言ってるのは、横にいる人けれど、乗ってる人は武将みたいな感じでたぶん偉いから、横にいる人が、馬と偉いさんが通るから、「雀みだいなやつ」のけ「みだいな感じ」で言ってる。(たぐん)

C7二人いるってこと。(けんたろつ)

C8うちと一緒にの感じ。(いろね)

C9偉そうって感じ。(fensei)

C10はいはい。偉そうね。(あずみ)

T5じゃあ、馬自体が偉いとか、ここにもっと偉い人が乗ってるんだぞっていう・・・

C11その人が偉そう。(うんね)

C12てことはさあ、そのお話をさあ、詩がなんかわざわざ書いてるってことは、それはただの武将の武勇伝なんじゃない？(うんせつ)

T6ええの？6人の人。まだ2人しか、あ、そうたくんも言ってくれたけど、あとの3人はもうええの？反論っていうか、こっちの立場受け付けていい？

C13えっと、侍さんが、偉いさんが、俺様・・・シャインみたいなことを言った。雀がどかへんからそれで怒った。(ゆんせ)

C14ちよつと待って、みんなちよつと違う。偉そうってだけで、偉いとは限ってない。(いろね)

C15せやな。だって後ろ荷車引いてるただの農民かもしれやん。(けんたろつ)

C16だからうちは、ただ単に人はどうでもいいねん。偉そうにしてるってことを主張したいの・・・いろね

C17でも、馬高いやろ？(ゆんせ)

C18だからそういうことじゃないねん。うちは、言いたいのは、人は別にどうでもいいねん。その人が偉そうにしてるっていうのを主張したいの「みんなが武将とか言うから、ちよつと話がずれてるねん。(いろね)

T76人の人の中でも違いがあるねんかな。たくとくんは、ここにはもうお偉いさんが乗ってるっていうイメージで偉い馬って思ってるけど、いろねちゃんは、そうじゃない、ただの態度が偉そうってことやな。この2人はどっちかって？

C19偉いさん。(ゆんせ)(ゆんせ)

T8たくとくと一緒やな。

C20おれらも言いたい。(うんせつ)

C21どうぞ言っちゃってくだせう。(あずみ)

T9そろそろ立場変わって意見聞いてもいい？

C22質問。あのさあ、こうせいとか、そういう子(B)「、なおたち(A)じゃない人が言ってる時にさ、「でもか」とかか言ってもいい？」(なお)

T10「でもさあ」言い合うのは後からにしか。まず、自分達がさっき話し合いでこういう意見出しましたっていうのを言っ。じゃあ、変わるよ。どうぞ。

C23まず言いたいのは、その偉そうっていうのは、偉そうなだけで、馬を連れてる側やったら、馬を止めればいいだけの話であって、わざわざ言っする必要もないかなと思っのと、馬の横にいる人はもっこそうで、馬の上やったら、まだスピードがあるから止めにくいかもしれんけど、馬の横やったらただ歩いてるだけやん。止めること

この後、「普通雀は勝ちに飛んでいって」という意見を拾い上げ、出てくるのは「雀の♀」であるという注目した。

次の日の授業 支持確認 馬を連れてくる側 4人 通行人 10人

- ・普通「馬って言ったからさうさ、何で」「御馬」？。(じゅせう)
- ・偉い人が乗ってるから。「武将」が通るでもさうさ。(じゅせう)
- ・偉い人は自分が乗ってる馬は「御馬」と言わない。通行人の視点。(あすみ)
- ・もし偉い人が乗ってるなら、雀「ときには止まらない。(けんたろう)」
- ・わざわざ話を通じない雀「一匹に武将が言わない。だから武将が乗った馬が通る道に雀の子がいたってさうしーんを通行人が併句した。(じゅせう)

- ・雀が一匹やったら、のけて言わんでも、よければいい。(じゅせう)
- ・何匹もいたら「子たち」ってさうさ。(あすみ)
- ・でも「さうさのけさうさのけ」はお偉いさんみたいな言い方。(通行人なら「いった方がいらぬ」ってさうさと思っ。(じゅせう)

(じゅせう)

- ・お偉いさんには家来がついてるから、本人は言わない。(あすみ・けんたろう・じゅせう)
- ・「のけ」「さうさ」言葉は、お偉いさんだけが使う言葉じゃない。(あすみ・はるま・じゅせう)

○御馬の「御」は偉い人の馬を指すが、「のけ」はそれで偉い人だということはできない。

筆者は小林一茶であり、武士ではない。

○いろねが言った「のいたほうがいいよ」と「のけ」の違いに触れる。

- ・優つてさうさの敵つてさうさ。(じゅせう)

○「のけ」は命令。どれぐらいの思いがこもっているか？

Aのいてくれないと人生が終わるレベル(のいてなかったら、自分が処刑される)(じゅせう・あすみ)

B馬を連れてくる人がそこをのかないと邪魔と怒っている。(だへん)

C通行人が、雀が踏まれると思って焦っている。(じゅせう)

Dそのままと大げがしたり、死んじやうかもしれないという大きな心配がある。(けんたろう)

○Aの意見について、処刑されるというのは雀の子？自分？と確認↓自分(筆者)

- ・それなら自分で助ければいい。(じゅせう)

次の日の授業

支持確認 A 2人 ・ B 4人 ・ C D 8人 (Bは馬を連れてくる側の意見)

◆今までの授業を振り返ってまたおかしさを確認

- ・なんで馬を自分で止めないの？
- ・なんで言葉の通じない雀の子「さうさのけ」やさうさ？
- ・何で自分で助けないの？

◆いよいよまたおかしさを全部についていって「さうさのけ」「さうさのけ」状況について、カードを黒板に貼りながら考えを説明

①祭りが何かで武将が通るようになってる(馬は走ってる)(道の先に、雀の子がいて、筆者は手を伸ばしたら道に入らなうさ。「さうさのけ」馬が来るかなさうさ「さうさのけ」(じゅせう)

②馬には人が乗っていて、結構速いスピードで来てて、その道の先に雀がいる。人はさっきさうせいが示したよりも遠いところについて、走りながら雀の方に向かい、心配しながらさうさ。(じゅせう)

③偉い人が乗った馬が走って来て、その先にいる雀の子「さうさのけ」馬の上かひらさうさのけ「さうさのけ」ってさうさ。(あお)

④偉い人が通るので、みんな道の両脇にのけてるけど、その道の先に雀の子がいて、偉い人が「はやくどけはやくどけ」ってさうさ。筆者はそれを道路わきの群衆として見ていて併句した。(じゅせう)

